

地域ネットワークニュース

～令和4年8月の勉強会のお知らせ & 令和4年7月の勉強会報告～

第269回 地域ネットワーク勉強会

「それぞれの伴走支援」
～消費生活センターと自立支援機関～

日時：令和4年8月24日（水）

時間：午後7時～午後8時30分

場所：神栖市保健・福祉会館 新館2階 研修室

定員：30名（先着・要事前予約）

講師：神栖市消費生活センター 内藤恵美子氏（消費生活相談員） 谷川祐美氏（企業港湾商工課・主幹）
神栖市社会福祉協議会 鴨川和明（社会福祉士・精神保健福祉士）

生活の困りごととは複雑に絡み合っていて世帯全体に影響していることが少なくありません。その一つに生活困窮の課題があります。「多重債務により生活が苦しい」、「高齢の親が亡くなり、ひきこもりがちの子の生活が成り立たなくなった」などの相談が生活困窮者自立支援機関である社協に寄せられます。相談者によっては、他の機関と連携した支援が必要となりますが、そのための手続きが苦手であったりして、継続して伴走してくれる支援者が必要です。



そこで今回の勉強会では、日ごろから債務関係の書類の確認や記入方法の案内、相談内容に応じた適切な法律事務所への紹介など相談者に寄り添った形で伴走支援している多重債務の専門相談窓口である消費生活センターの内藤氏と谷川氏をお招きし、『伴走支援』をキーワードにセンターの支援内容や連携するにあたって留意している点など具体的事例を交えてお話しいたします。また社協自立支援相談員からも支援内容と事例の紹介を行います。相談者に関わる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、計画相談支援事業所などの皆さんに消費生活センターや社協が実際にどのように支援をしているのかを知って頂き、イメージしていただくことで、世帯への支援の働きかけが早まることは、課題の早期解決につながります。多くの方の参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 川田、三浦 電話 0299-93-0294

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催を中止する場合があります。詳しくは、本会ホームページにて開催状況についてご確認ください。

第268回 地域ネットワーク勉強会報告 令和4年7月14日開催 <参加者46名>

地域で支える障害者の就労支援～ミスマッチを防ぐための支援と事業所連携～

講師：小原 夕美子氏（障がい者就労支援センター コンパス）
二本柳 英子氏（就労支援事業所 Kichi-Kuro<きちくろ>）

今回の勉強会では、地域での障害者の就労支援について、「ミスマッチを防ぐ」をキーワードに開催しました。講師として登壇していただいたコンパスの小原さんときちくろの二本柳さんからそれぞれの事業紹介をはじめ、利用者のミスマッチを防ぐための取り組みや他の事業所との連携についてお話しいたしました。具体的事例の共有の中では、本人のやりたいことと事業所の作業内容等の特色がかみ合わずミスマッチを起こしたケースについて参加者と共有させていただきました。日ごろより連携を密にしている事業所同士だからこそミスマッチの防止につながった事例だったのではないかと感じました。



コンパスの小原さん(写真左)
きちくろの二本柳さん(同右)

勉強会終了後に回収したアンケートの中では、「他の事業所さんと交流を持つことの大切さを学ぶことができた」、「顔の見える繋がりが大切だと思いました」、「ミスマッチを防ぐことは、利用者を第一に考えることだと思った」、「支援の中でミスマッチを防ぐという視点が抜けていたので勉強になった」など多くの感想があり、「ミスマッチを防ぐ」というキーワードに対しての反響の大きさを知ることができました。